

令和2年度水源の森ポスター原画コンクール審査結果

1 応募総数

小学校	1, 237点	131校
中学校	679点	58校
計	1, 916点	189校

2 審査経過

- ・一次審査（審査員 FACTORY+M アーティスト 松浦佳菜子氏）
小学校の作品から61点を選定、中学校の作品から49点を選定
- ・二次審査（審査員 福岡県教育庁義務教育課 指導主事 笹渕恵氏）
小学校一次審査選定61点から入賞16点を選定
中学校一次審査選定49点から入賞16点を選定

3 ポスター入賞作品（知事賞、教育委員会賞）



知事賞（小学校の部）

中村光希 新宮町立新宮小学校5年



教育委員会賞（小学校の部）

石松伶侖 岡垣町立山田小学校6年



知事賞（中学校の部）

岩松希美 小郡市立小郡中学校3年



教育委員会賞（中学校の部）

江頭信治 福岡市立三宅中学校3年

4 審査員講評

今年は短い夏休みだったにも関わらず、小学校の部、中学校の部ともに力作が多く、見応えがある作品ばかりでした。

小学校の部では、自分が実際に見た、あるいは想像した美しい水や森が育む豊かな自然を素直な気持ちで描いた作品がたくさんありました。知事賞の中村さんの作品は、水滴の中で跳ねる魚や勢いよく流れる水が力強く描かれていました。教育委員会賞の石松さんの作品は、若葉が眩しい森の中に、水をイメージする青色のラインが抽象的に表現され、さわやかさを感じる作品となっています。

中学生の部では、細部まで実に丁寧に描かれ、画面構成を綿密に考えた作品が多数見られました。知事賞の岩松さんの作品は、水の波紋が生み出す光の変化が見事に表現され、文字のレイアウトや配色も絵の中の森や水のみずみずしさが際立つよう工夫されています。教育委員会賞の江頭さんの作品は、まさに今、透明な水が画面の中から流れてきそうなほど写実的に描かれています。その中で、あたたかな色で描かれた鳥や虫たちがアクセントとなり自然の豊かさを感じさせてくれます。両作品とも、鋭い眼差しで自然を見つめ、水の透明感をどこまで美しく描くことができるのかを追求した見事な作品です。

5 入賞作品

別紙のとおり

6 入賞者

別紙のとおり

7 入賞作品展示

展示場所 福岡市中央区天神 1・1・1 アクロス福岡 1階コミュニケーションエリア

展示期間 令和2年12月7日(月)～12月13日(日)

10:00～18:00 (最終日は16:00)